

お母さんは陶芸家

柳平： だんだん、終わりに近づいてまいりました。ここで、ドーマン先生の将来について先生の最終的な教育方針、さらに、先生が日本のお母様方に是非知っておいて頂きたい、ということについてお話をしたいと思います。

また、今迄の質問になかった点で、ぜひこの点を、ということがございましたら、それをお聞かせ頂きたいと思います。

ドーマン： 最初に申しあげたいことは、もう一回日本へ戻ってくることを、非常に期待しているということです。

次に私は、お母様方だけでなく、将来お母様となられるここにいらっしゃるきれいなお嬢様方にとっても、大変重要なメッセージをお伝えしたいと思います。

世界で一番大切なものは、ダイヤでもなければ、プラチナでもありません。それは赤ちゃんの頭脳を形成している3ボンドの物

体なのです。

私は、あなたの趣味が良い趣味であるとか、悪い趣味であるとか、また、それは良い性質のものであるか、悪い性質のものであるかなどということ、あえて申しあげすることはできません。

ただ、ここで申しあげなければならないのは、お母様方が、これこそ最上のものだと思っていていらっしゃるものが、悪いものと全く同じように、赤ちゃんの頭脳の中には、吸収されてしまう、ということです。

子供さんは粘土であり、お母様は、その粘土を壺につくる陶芸家です。その粘土は、どのようにつくられるかということに、尊敬と誇りをお持ちください。